

押さえて  
おきたい!!

# 注目のお宝株! イチオシ企業大特集

東プ・9658

株式会社  
ビジネスブレイン太田昭和

## BBSサイクルとM&Aで 20%の成長を見込む



代表取締役社長  
小宮一浩 氏

経営会計コンサルティング、システム開発、ビジネス・プロセス・アウトソーシング（以下、BPO）の3事業を一気通貫で提供している「ビジネスブレイン太田昭和（以下、BBS）」は、公認会計士が創業した経営会計情報領域の専門家集団であり、会計とITの両面に精通したコンサルティングを武器としている。

売上高の50%超を  
既存客が占める

BBSの強みの一つが、会計の専門知見を基盤とした「BBSサイクル」だ。「経営会計コンサルティング」で課題解決の方法を提案し、その手段として「システム開発」や「BPO」を提供するサイクルである。このサイクルを一体的に提供できる企業は、国内でも極めてまれである。さらに、一度サイクルに組み込まれたクライアントとは、継続的な取引が発生するケースが少なくない。現に、売上高の50%超は既存顧客によるものであり、BBSの事業は「ストック型ビジネス」の色合いが濃い。こうした安定した顧客基盤を武器に、既存事業とM&A事業をあわせて、毎年売上高約20%の安定成長を見込んでいる。

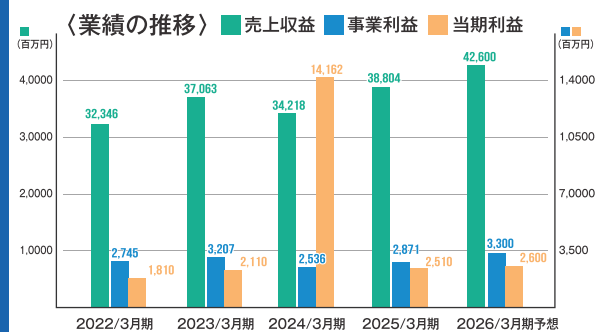
業績拡大に向け  
不採算案件削減へ

BBSの3事業を巡る市場環境は良好だ。2026年度のコンサルティング市場のCAGR（年平均成長率）は8・8%、S-I市場は同3・4%、BPO市場は同2・7%と予測されている。

こうした良好な市場環境を背景に、BBSはM&Aで攻勢をかける。例えば2023年11月には、CAD/PDMシステムの受託開発に強みを持つフレスコ社を買収。これにより製造業向けに、経営会計のみならず、設

### DATA

注：データは2025年9月3日時点



株価

2,768円

配当利回り  
(今期予想)

3.22%

### POINT

配当性向は40%を維持しつつ、自己株取得など臨時的な株主還元も実施する方針。2025年3月期には14億円の自己株取得を実施。2026年3月期の年間配当金は1株あたり89円（2025年3月期は78円）であり、11円増配を見込む。また、株主還元策として、保有期間1年以上かつ100株以上保有の株主に対して、1,000円相当以上のオリジナル・クオカードを贈呈する。

2つの戦略で  
売上高580億円へ

2026年度を最終年度とする3カ年の新中期経営計画では、業績拡大に向け「No.1戦略」および「R C N2戦略」を掲げている。「No.1戦略」は、経営会計システムで国内No.1を目指し、BBSの新規顧客を全国で獲得する戦略

計開発から生産管理に至る分野のシステムを提供できる体制を整えた。また、収益性向上に向けて不採算案件の削減にも取り組む。具体的には、不採算案件の芽を早期に摘むため、プロジェクトの進捗に応じて品質チェックを行う仕組みを導入した。そのほか、BPOにおける業務効率化を目的としたAIシステムの開発および同システムの外販にも注力する方針だ。

### 企業ロゴ

Together for Value



### DATA

株式会社ビジネスブレイン太田昭和

東京都港区西新橋1-1-1  
日比谷フォートタワー15F

詳しくはこちら



だ。例えば2023年12月には福岡支店を開設し、福岡・広島エリアにおけるBBSユーザーの拡大を進めている。一方、「R C N2戦略」は、既存顧客の深耕によつて、さらにロイヤルカスタマーの社数を増やす戦略。今中計ではターゲットをコンシューマー業種とヘルスケア業種のクライアントに据えている。2つの戦略を進め、2026年3月期の売上高580億円（2024年3月期は388億円）、3年間のCAGRで20%成長の実現を目指す。